

Q3 - 1

サンルダムの建設に係わる環境影響評価について、平成15、16、17年の3ヶ年で再評価するとしているが、その結果を示していないため、結果報告を広く関係住民に示すこと。

Q3 - 2

遊水地により洪水対策可能との私的見解を取り上げた報道があったが、流域全体での総合的な治水対策とダム建設を対比した十分な検討を加えること。

3-2-1

今までの治水対策（天塩川本流上流）

- 天塩川本川上流において、これまで堤防整備や河道掘削、ダムの整備が行われ、整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水に概ね対応した整備が行われている。

昭和40年頃に想定される浸水区域(名寄市・士別市)



※写真の網掛け部分は、昭和40年頃に想定される浸水区域

天塩川 KP162付近

現況で想定される浸水区域(名寄市・士別市)



天塩川 KP162付近

3-2-2

今までの治水対策（天塩川本流上流）

- 天塩川本川上流において、これまで堤防整備や河道掘削、ダムの整備が行われ、整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水に概ね対応した整備が行われている。

昭和40年頃に想定される浸水区域(士別市)



※写真の網掛け部分は、昭和40年頃に想定される浸水区域

天塩川 KP186付近

現況で想定される浸水区域(士別市)



天塩川 KP186付近

3-2-4

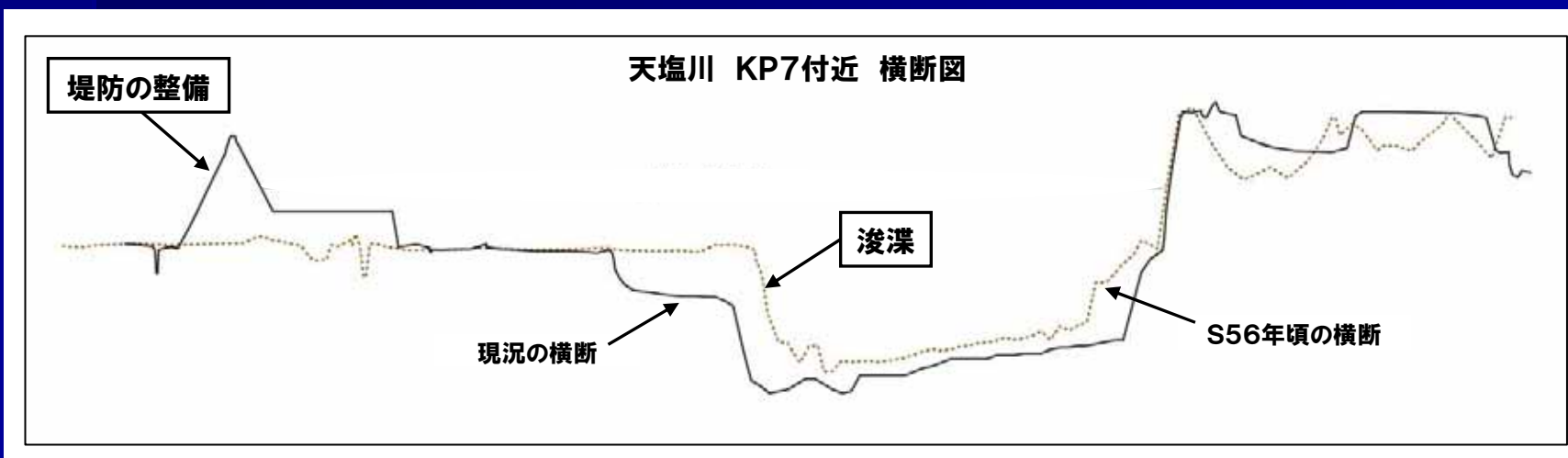
今までの治水対策(天塩川下流部)



昭和50年8月洪水状況



平成17年現在



3-2-5 整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(天塩町・幌延町)



3-2-6

整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(幌延町)



※写真の網掛け部分は、想定される浸水区域(現況時)

3-2-7

整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(幌延町)



※写真の網掛け部分は、想定される浸水区域(現況時)

3-2-8

整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(音威子府村)



3-2-9

整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(美深町)



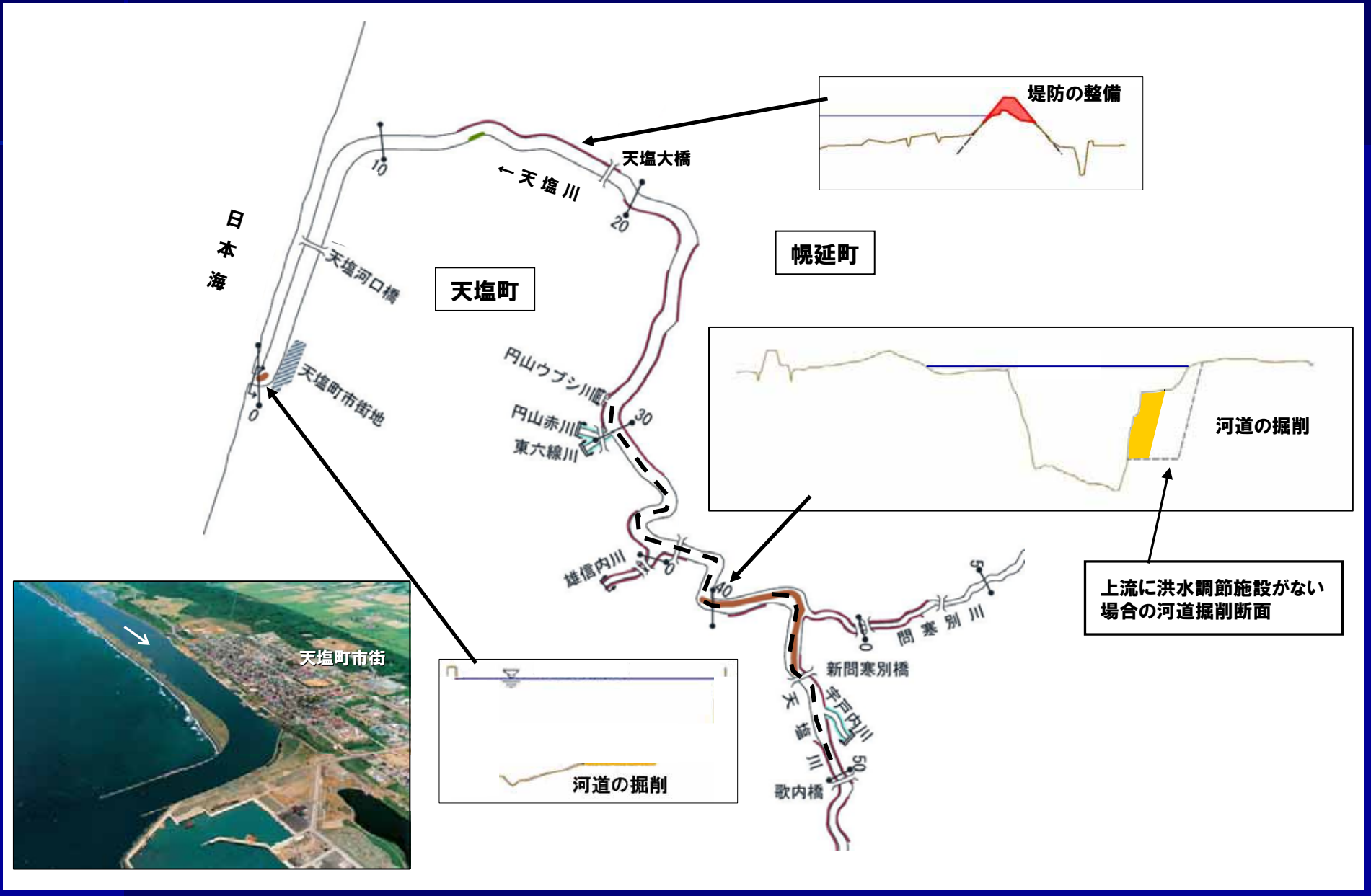
3-2-10

整備計画で目標としている戦後最大規模の洪水により想定される浸水区域(名寄市)



3-2-11

天塩川下流の治水対策について

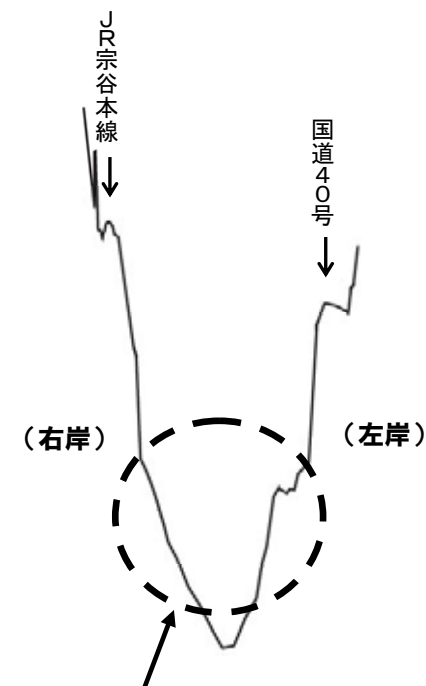


3-2-12 音威子府狭窄部の河道掘削について

- 音威子府狭窄部は、上下流の川幅に対し約100mと川幅が狭く、河岸の山際を一般国道40号(左岸)、JR宗谷本線(右岸)が併走している。
- この区間の両岸斜面は、地すべり地形を有しており、河道掘削による地すべりの誘発が懸念されている。



天塩川 KP88付近 横断面図



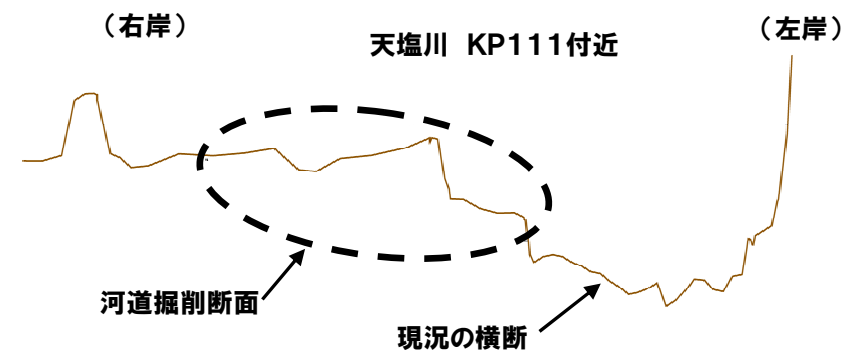
上流に洪水調節施設がない場合、河道掘削が必要となる。

3-2-13 音威子府～美深の河道掘削について

- 上流に洪水調節施設がない場合、音威子府～美深間の河道掘削量は膨大となり、河川環境への影響が懸念される。



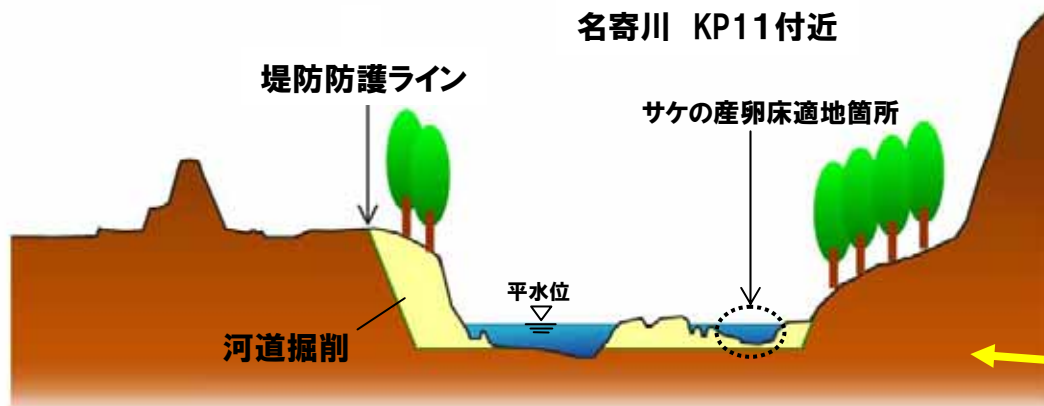
上流に洪水調節施設がない場合の河道掘削断面



3-2-14 名寄川における河道掘削について

- 上流に洪水調節施設がない場合は、大規模な河道掘削が必要となり、河川環境への影響が懸念される。

上流に洪水調節施設がない場合



※堤防防護ラインとは、洪水による侵食・洗掘に対する堤防の安全性を確保するために必要な高水敷幅

名寄川 KP11付近 航空写真



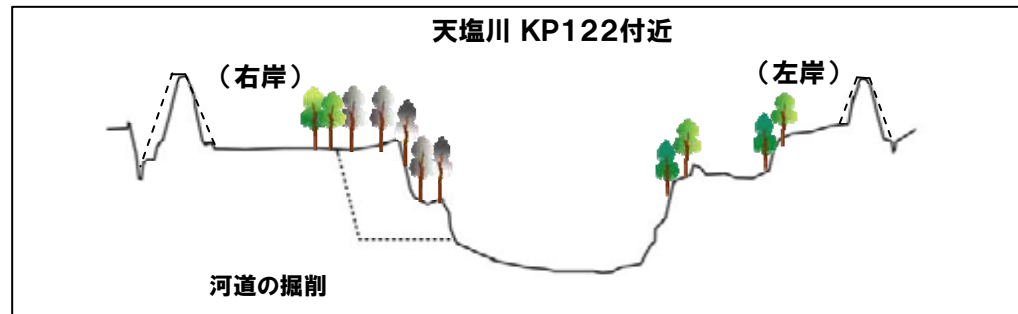
3-2-15

河道内の樹木管理について

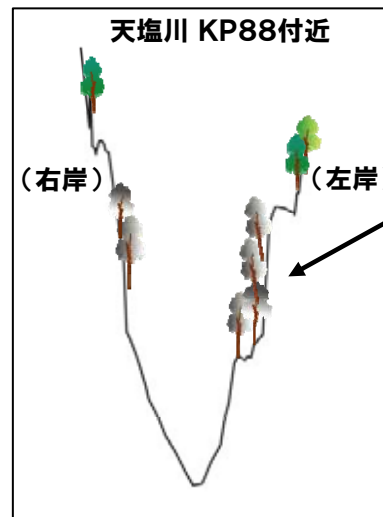
- 河畔林は生物の移動経路としての機能を有していることから、治水面との整合を図りつつ、縦断的な連続性や周辺樹林地との横断的な確保に努める。



樹木保全のイメージ



樹木伐採のイメージ



河道内の樹木群の拡大は、洪水時に流下の支障となることから適切に管理する。

凡 例	
	保 全
	伐 採

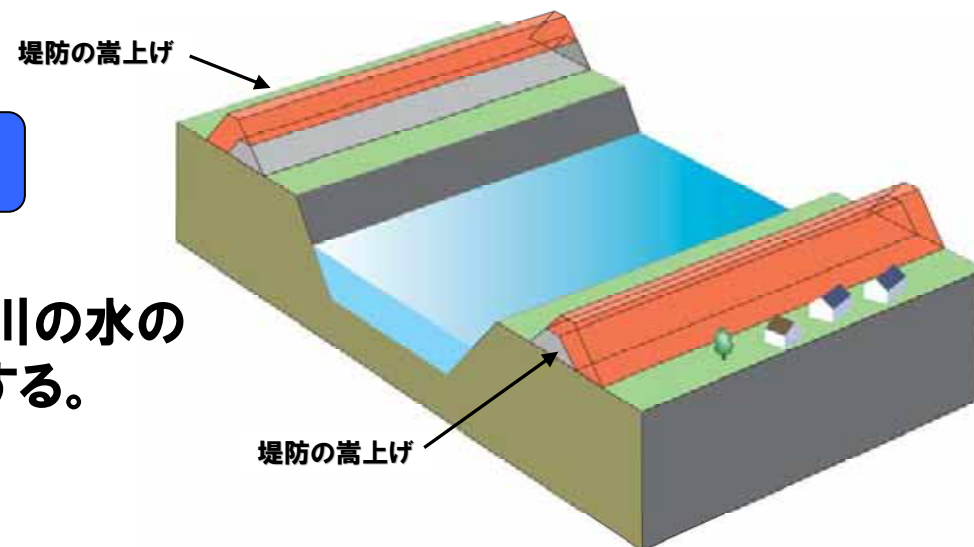
3-2-17

堤防の嵩上げ について

- 堤防の嵩上げについては、洪水時の水位を上げることとなり、破堤時の被害を拡大させてしまう。
- 洪水時の本川水位が高くなり、流入する支川、排水路からの洪水が流れ込みづらくなる。→ 内水被害の拡大
- 新たな用地の確保や家屋移転、橋梁、樋門等の改築が必要となり、社会的影響が大きくなる。

●堤防の嵩上げ

堤防を嵩上げし、河川の水の
流れる断面を大きくする。



3-2-18

仮に計画高水位を上げた 場合の影響 ①

計画高水位を上げるにより
計画堤防高も上げる必要がある

堤防の嵩上げ

堤防の嵩上げ

UP
計画堤防高

計画堤防高
UP

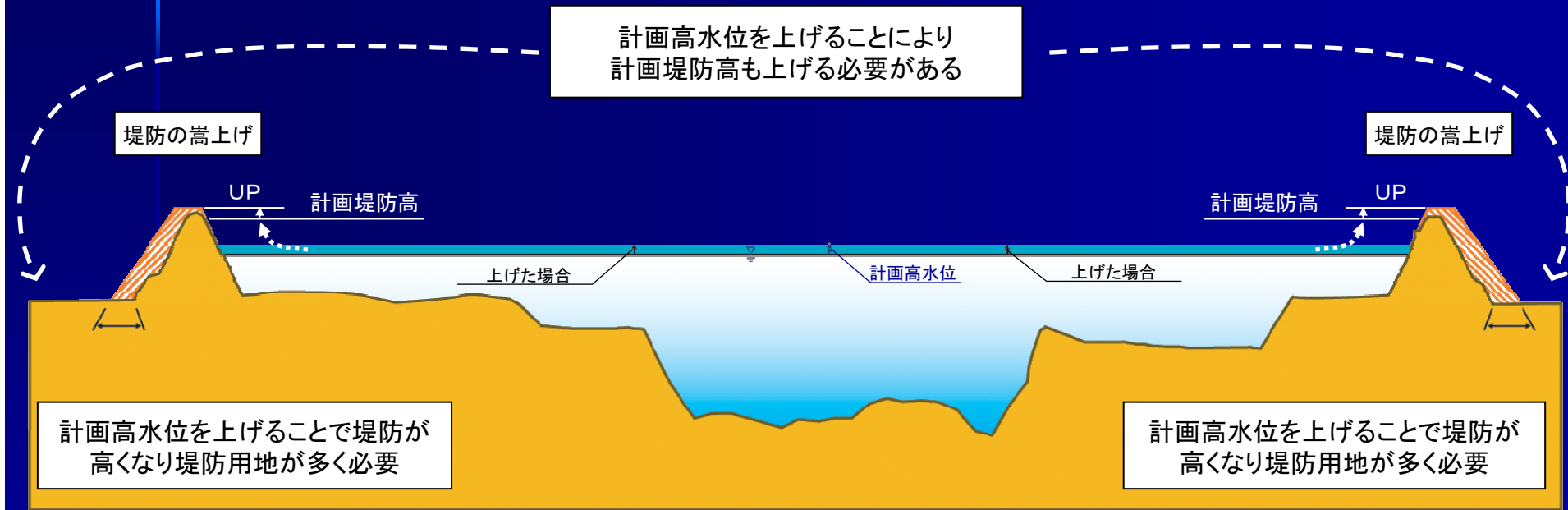
上げた場合

計画高水位

上げた場合

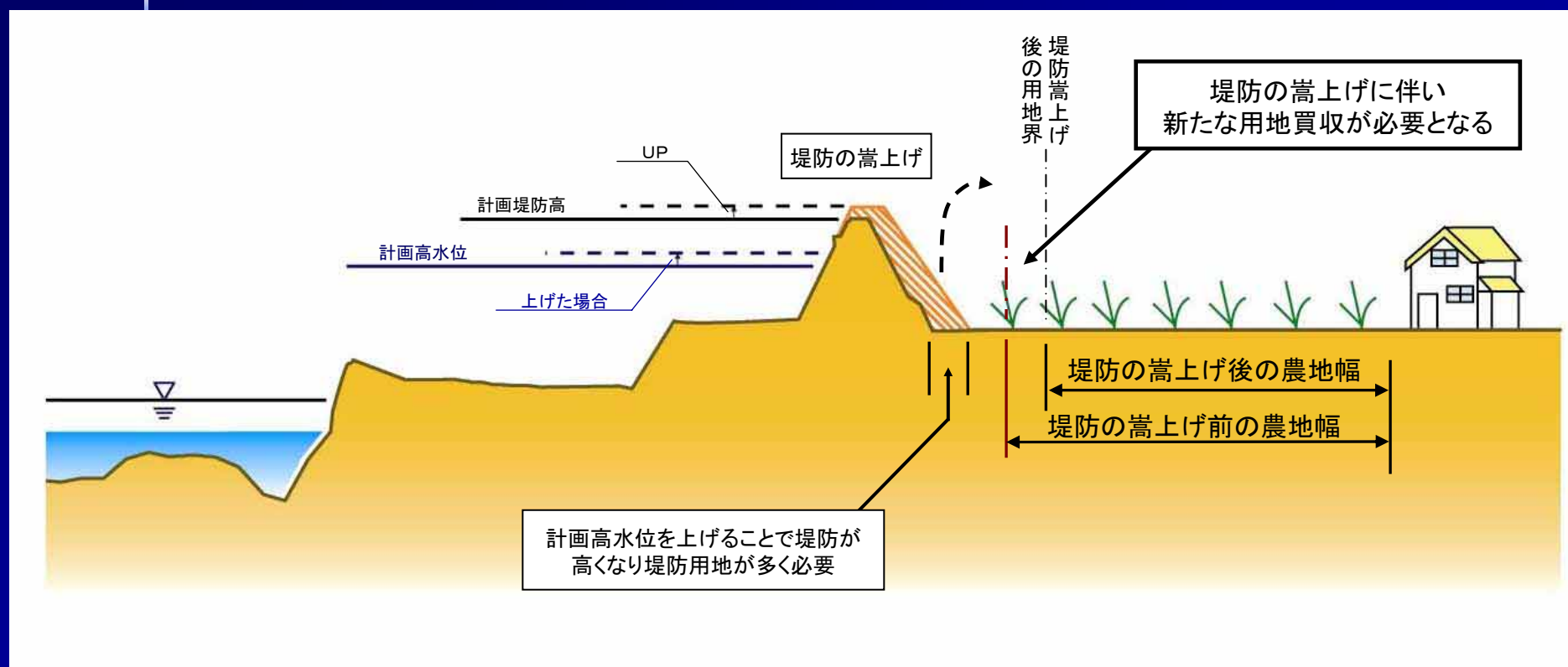
計画高水位を上げることで堤防が
高くなり堤防用地が多く必要

計画高水位を上げることで堤防が
高くなり堤防用地が多く必要



3-2-19

仮に計画高水位を上げた 場合の影響 ②



3-2-20

仮に計画高水位を上げた 場合の影響 ③

- 計画高水位を上げることで、新たな用地の確保や橋梁、樋門等の改築が必要となります。



参考 1-1

水道用水

名寄市、下川町は水需要の増加及び、将来にわたり安定した供給にむけてのため、サンルダムで水量を確保し新たに名寄市は3,700m³/日、下川町は530m³/日の取水を計画していましたが、平成17年に事業再評価を行った結果、人口減少に伴う取水人口の減少など地域の情勢が変化しているため、水需要の見通しの検討を行い、名寄市は1,510m³/日、下川町は130m³/日に取水量を減量することになりました。

◎名寄市：

(当初) 給水人口30,450人 (H30)

(変更) 給水人口27,580人 (H32)

◎下川町：

(当初) 給水人口4,580人 (H30)

(変更) 給水人口3,600人 (H35)

参考 1-2

平成19年渇水の状況



美深橋地点



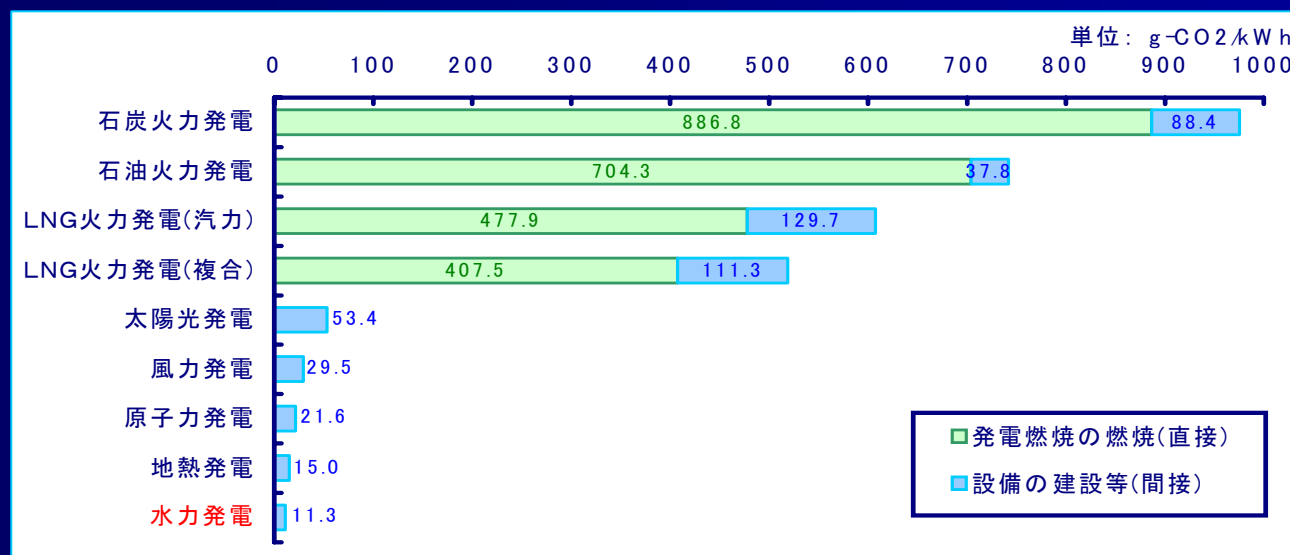
真勲別地点下流

参考 1-3

発電

◎ サンプル発電所

(北海水力発電株式会社) 事業概要; 最大認可出力1,000kW



発電別二酸化炭素(CO₂)排出量

出典: 資源エネルギー庁より

